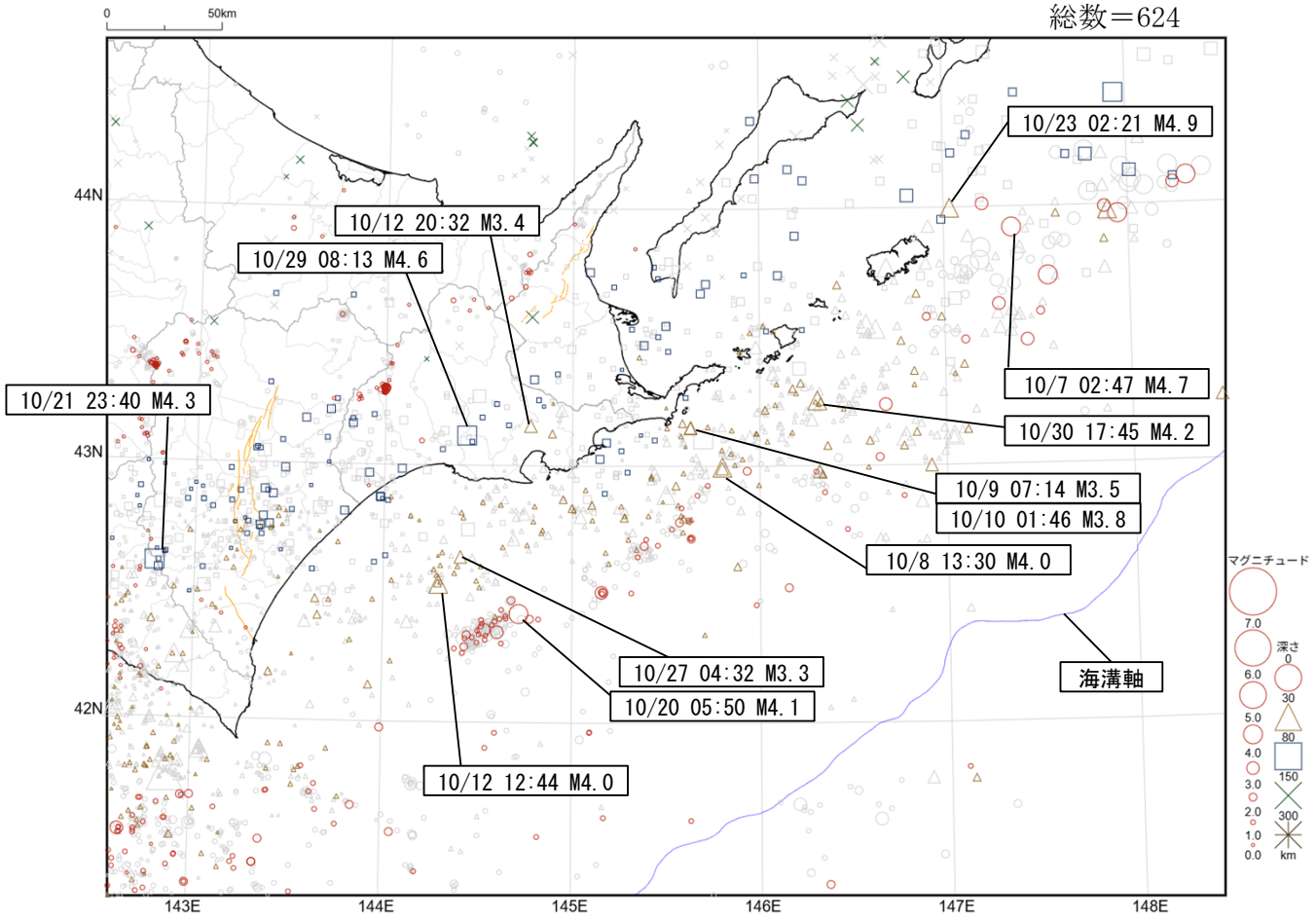
釧路・根室・十勝地方の地震活動図

2026年10月

釧路地方気象台

震央分布図



・図中橙色の線は、地震調査研究推進本部が地震発生可能性の長期的な確率評価を行った主要活断層を表します。
・過去の地震と比較するため、前３ヶ月（今期間を含まない）の震央を灰色のシンボルで表します。
・本資料中の地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号平29情使、第798号）。

地震概況（2026年10月）

この期間、釧路・根室・十勝地方の震度観測点で震度１以上を観測した地震は12回（９月は６回）でした（「釧路・根室・十勝地方で震度１以上を観測した地震の表」を参照）。

７日02時47分、北海道東方沖の地震（M4.7、ごく浅い）により、根室市で震度２を観測したほか、標茶町、標津町、別海町で震度１を観測しました。

10日01時46分、根室半島南東沖の地震（M3.8、 深さ63km）により、根室市で震度２を観測したほか、浜中町、標茶町、標津町、別海町で震度１を観測しました。

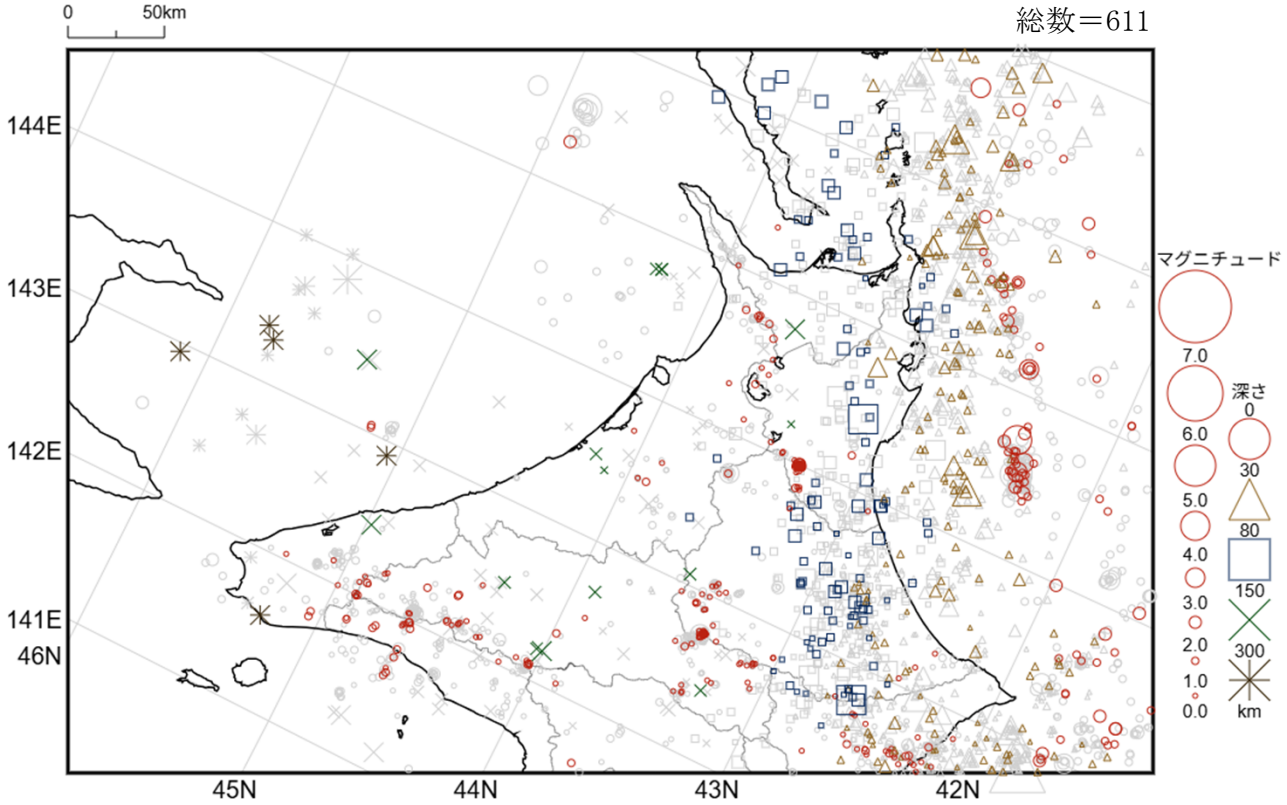
12日12時44分、釧路沖の地震（M4.0、 深さ69km）により、大樹町、釧路町、浜中町、標茶町、中標津町、別海町で震度２を観測したほか、釧路・根室・十勝地方で震度１を観測しました。

20日05時50分、釧路沖の地震（M4.1、 深さ24km）により、釧路市で震度２を観測したほか、釧路町、浜中町、標茶町、白糠町で震度１を観測しました。

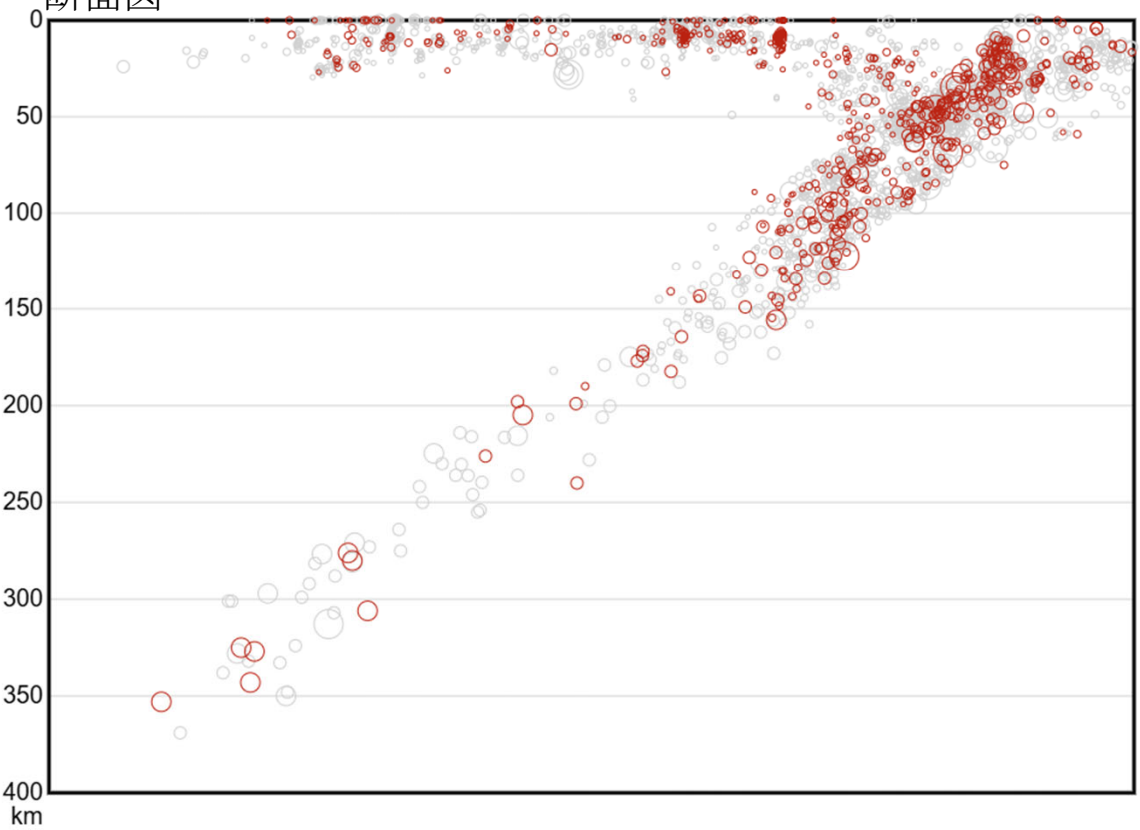
この活動図は、釧路地方気象台のホームページに掲載しています。
https://www.data.jma.go.jp/kushiro/bosai/earthquake/earthquake_data.html
この資料に関する問い合わせ先　釧路地方気象台　TEL　0154-31-5146

2026年10月

震央分布図



断面図

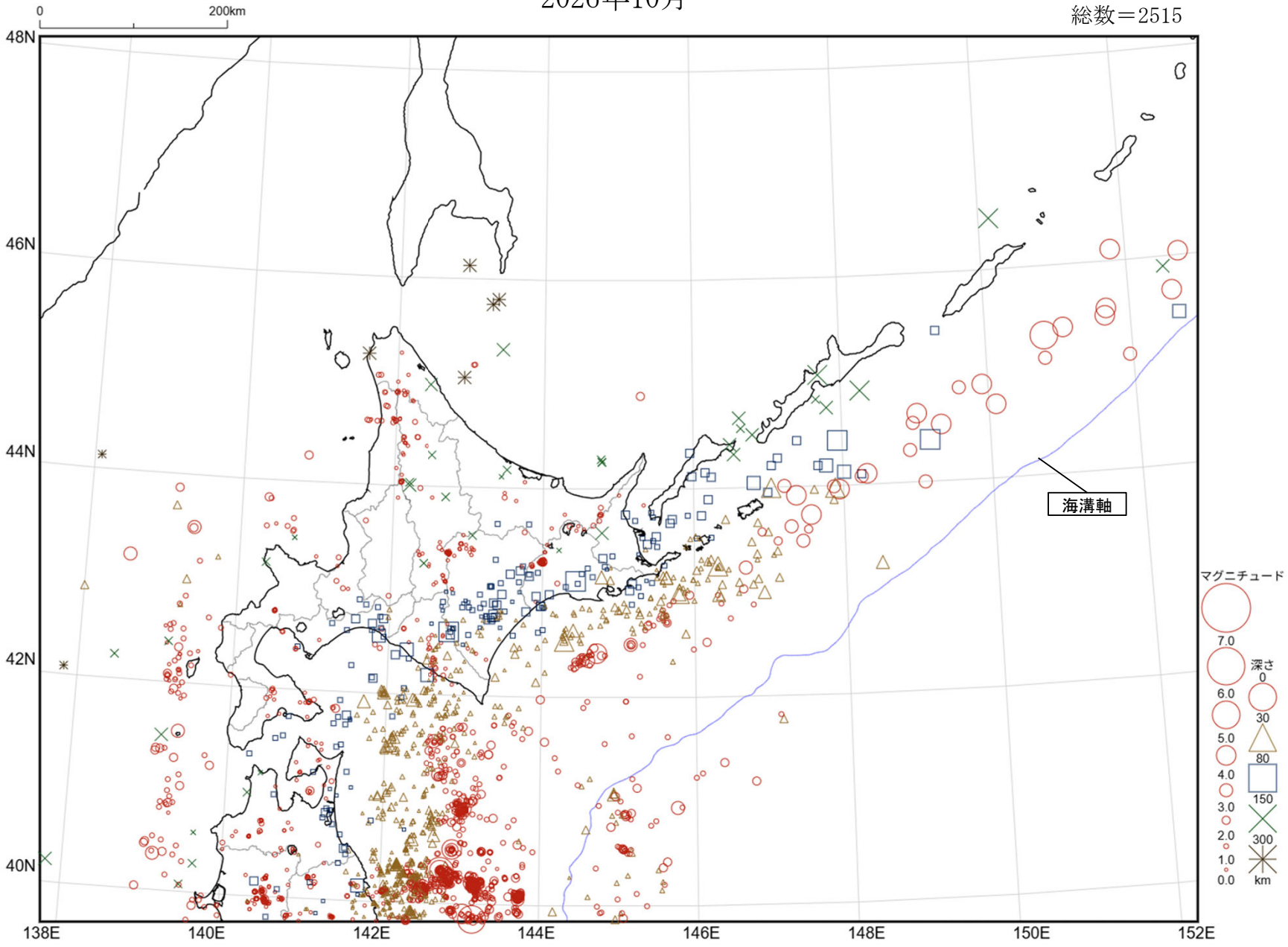


北海道の地震活動図

震央分布図

2026年10月

総数＝2515



釧路・根室・十勝地方で震度１以上を観測した地震の表
（2026年10月）

	年　月　日 地方	時　分 震度	震央地名 震度観測点名	北緯（N）	東経（E）	深さ（ｋｍ）	規模（M）
1	2026年10月 7日	02時47分	北海道東方沖	43° 55.1′ N	147° 22.0′ E	0ｋｍ	M4.7
	根室地方	震度２	根室市落石東＊(17)				
		震度１	標津町北２条＊(11)　別海町常盤(08)　別海町本別海＊(05)　根室市琵瑤瑁＊(07)				
	釧路地方	震度１	標茶町塘路＊(05)				
2	2026年10月 8日	13時30分	根室半島南東沖	42° 59.7′ N	145° 47.9′ E	35ｋｍ	M4.0
	釧路地方	震度１	浜中町茶内＊(06)				
	根室地方	震度１	根室市厚床＊(07)　根室市落石東＊(09)　根室市琵瑤瑁＊(10)				
3	2026年10月 9日	07時14分	根室半島南東沖	43° 09.0′ N	145° 37.8′ E	63ｋｍ	M3.5
	根室地方	震度１	根室市牧の内＊(09)　根室市落石東＊(10)　根室市琵瑤瑁＊(10)				
4	2026年10月10日	01時46分	根室半島南東沖	43° 08.8′ N	145° 37.7′ E	63ｋｍ	M3.8
	根室地方	震度２	根室市牧の内＊(16)　根室市落石東＊(17)　根室市琵瑤瑁＊(16)				
		震度１	標津町北２条＊(08)　別海町本別海＊(06)　根室市弥栄(06)　根室市厚床＊(13)				
	釧路地方	震度１	浜中町茶内＊(06)　標茶町塘路＊(05)				
5	2026年10月12日	12時44分	釧路沖	42° 32.2′ N	144° 17.5′ E	69ｋｍ	M4.0
	十勝地方	震度２	十勝大樹町生花＊(16)				
		震度１	新得町２条＊(07)　足寄町南１条＊(14)　幕別町忠類錦町＊(08)　幕別町本町＊(08) 十勝池田町西１条＊(12)　豊頃町茂岩本町＊(08)　本別町向陽町＊(08) 浦幌町桜町＊(08)　十勝大樹町東本通＊(05)　広尾町白樺通(06)				
	釧路地方	震度２	釧路町別保＊(15)　浜中町茶内＊(15)　標茶町塘路＊(16)				
		震度１	弟子屈町弟子屈＊(13)　釧路市幸町(07)　釧路市黒金町＊(12) 釧路市阿寒町中央＊(06)　釧路市音別町中園＊(07)　厚岸町真栄＊(06) 標茶町川上＊(13)　鶴居村鶴居東＊(08)				
	根室地方	震度２	中標津町丸山＊(16)　別海町西春別＊(17)				
		震度１	中標津町養老牛(10)　標津町北２条＊(09)　別海町常盤(06)　別海町本別海＊(07) 根室市厚床＊(07)				
6	2026年10月12日	20時32分	釧路地方中南部	43° 09.2′ N	144° 46.5′ E	79ｋｍ	M3.4
	釧路地方	震度１	浜中町茶内＊(07)　標茶町塘路＊(07)				
7	2026年10月20日	05時50分	釧路沖	42° 25.3′ N	144° 43.1′ E	24ｋｍ	M4.1
	釧路地方	震度２	釧路市黒金町＊(15)				
		震度１	釧路市幸町(09)　釧路町別保＊(13)　浜中町茶内＊(12)　標茶町塘路＊(11) 白糠町西１条＊(08)				
8	2026年10月21日	23時40分	日高地方中部	42° 36.6′ N	142° 47.2′ E	97ｋｍ	M4.3
	十勝地方	震度２	足寄町南１条＊(15)　本別町北２丁目(17)　本別町向陽町＊(16)　浦幌町桜町＊(21)				
		震度１	新得町２条＊(08)　帯広市東４条(08)　帯広市東６条＊(10)　芽室町東２条＊(07) 幕別町忠類錦町＊(09)　幕別町本町＊(09)　十勝池田町西１条＊(11) 豊頃町茂岩本町＊(09)　十勝大樹町生花＊(09)				
9	2026年10月23日	02時21分	北海道東方沖	43° 59.8′ N	147° 02.0′ E	79ｋｍ	M4.9
	釧路地方	震度２	標茶町塘路＊(15)				
		震度１	釧路市幸町(06)　浜中町茶内＊(12)　鶴居村鶴居東＊(05)　白糠町西１条＊(08)				
	根室地方	震度２	別海町常盤(18)　根室市厚床＊(16)　根室市落石東＊(19)				
		震度１	中標津町丸山＊(12)　標津町北２条＊(14)　別海町本別海＊(12)　根室市牧の内＊(14) 根室市琵瑤瑁＊(14)				
	十勝地方	震度１	浦幌町桜町＊(08)　十勝大樹町生花＊(06)				
10	2026年10月27日	04時32分	釧路沖	42° 38.5′ N	144° 24.4′ E	56ｋｍ	M3.3
	十勝地方	震度１	十勝大樹町生花＊(06)				
	釧路地方	震度１	浜中町茶内＊(06)				
11	2026年10月29日	08時13分	釧路地方中南部	43° 06.9′ N	144° 26.1′ E	122ｋｍ	M4.6
	十勝地方	震度２	十勝大樹町生花＊(18)				
		震度１	足寄町上螺湾(05)　幕別町忠類錦町＊(06)　十勝池田町西１条＊(10) 豊頃町茂岩本町＊(06)　本別町北２丁目(10)　本別町向陽町＊(12)　浦幌町桜町＊(11) 十勝大樹町東本通＊(06)　広尾町並木通(08)　広尾町白樺通(05)				
	釧路地方	震度２	弟子屈町弟子屈＊(15)　釧路市黒金町＊(15)　釧路市音別町中園＊(17) 厚岸町尾幌(23)　浜中町茶内＊(18)　標茶町塘路＊(22)　鶴居村鶴居東＊(17)				
		震度１	弟子屈町美里(10)　釧路市幸町(13)　釧路市阿寒町中央＊(10)　釧路町別保＊(13) 厚岸町真栄＊(14)　浜中町湯沸(09)　標茶町川上＊(10)　白糠町西１条＊(09)				
	根室地方	震度２	別海町常盤(16)　別海町本別海＊(16)　根室市牧の内＊(15)　根室市厚床＊(17)				
		震度１	中標津町養老牛(05)　標津町北２条＊(09)　別海町西春別＊(14)　根室市落石東＊(14) 根室市琵瑤瑁＊(12)				
12	2026年10月30日	17時45分	根室半島南東沖	43° 15.2′ N	146° 18.5′ E	46ｋｍ	M4.2
	根室地方	震度２	根室市落石東＊(19)　根室市琵瑤瑁＊(20)				

	年　月　日 地方	時　分 震度	震央地名 震度観測点名		北緯（N）	東経（E）	深さ（ｋｍ）　規模（M）
	釧路地方	震度１ 震度１	中標津町丸山＊(10)　根室市弥栄(05)　根室市豊里(06)　根室市牧の内＊(07) 浜中町茶内＊(10)				

＊のついている地点は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。
（　）内の数値は0.1単位の詳細な震度（計測震度）の小数点を省略して表しています。

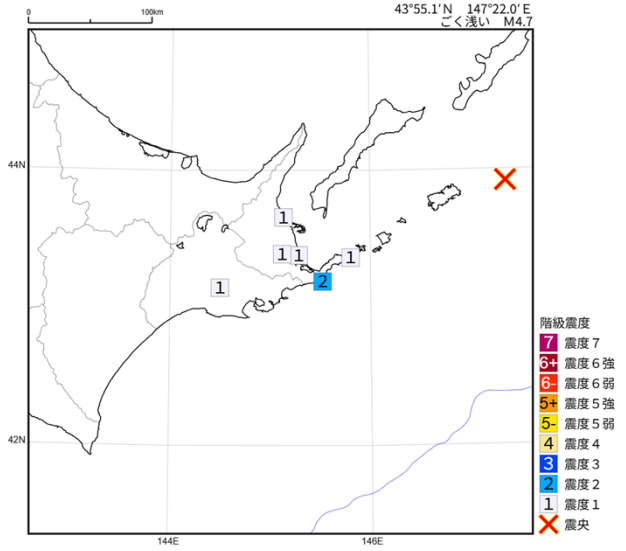
計測震度と震度階級の関係

計測震度	～0.4	0.5～1.4	1.5～2.4	2.5～3.4	3.5～4.4	4.5～4.9	5.0～5.4	5.5～5.9	6.0～6.4	6.5～
震度階級	0	1	2	3	4	５弱	５強	６弱	６強	7

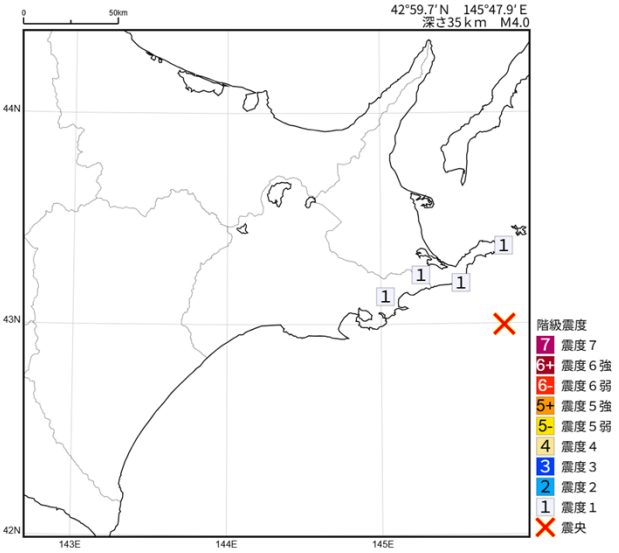
本資料の利用にあたって

・本資料の震源要素及び震度データは暫定値であり、データは後日変更することがあります。
・本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを使用しています。また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、2025年トカラ列島近海における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（平島、小宝島）、EarthScope Consortium の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

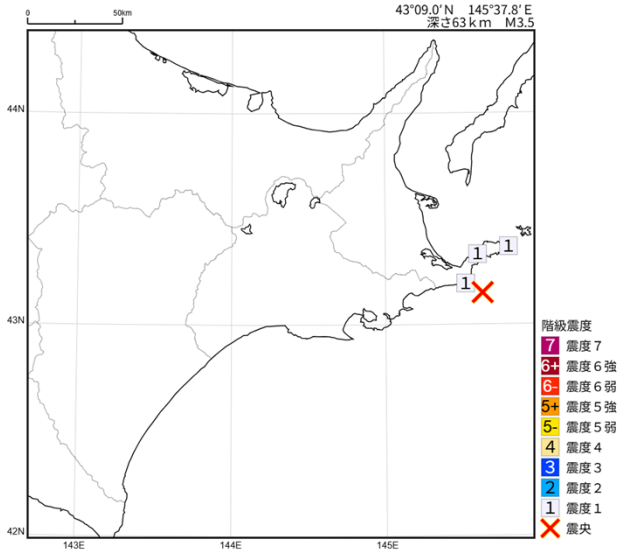
2026年10月 7日　02時47分　北海道東方沖の地震の震度分布図



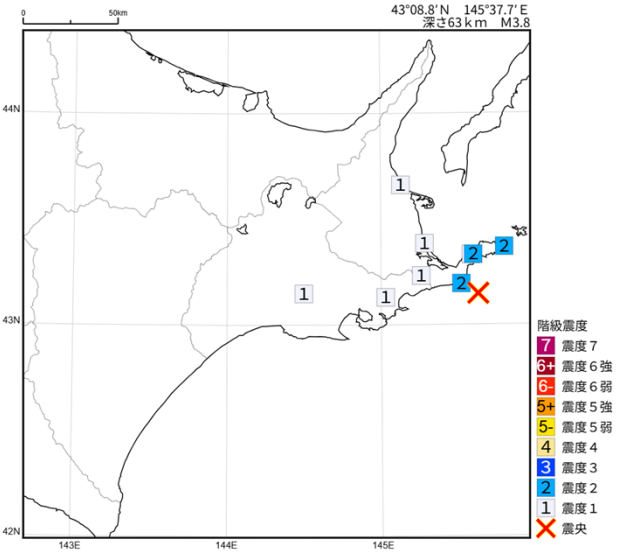
2026年10月 8日　13時30分　根室半島南東沖の地震の震度分布図



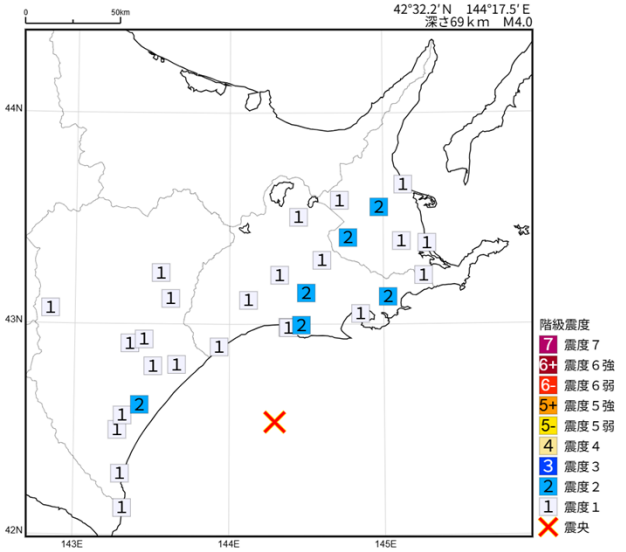
2026年10月 9日　07時14分　根室半島南東沖の地震の震度分布図



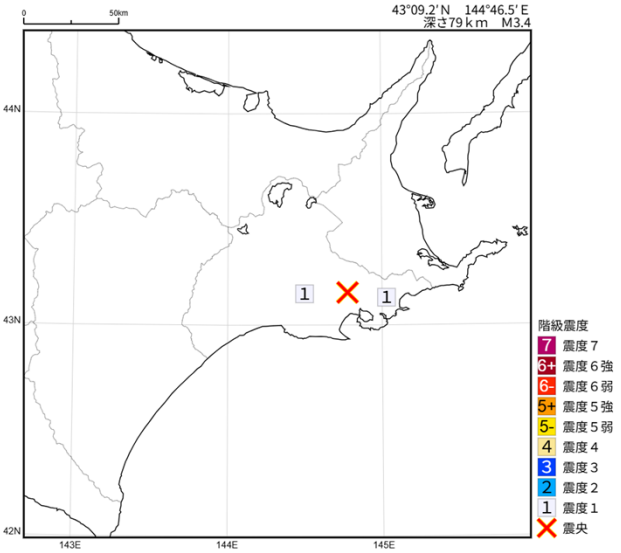
2026年10月10日　01時46分　根室半島南東沖の地震の震度分布図



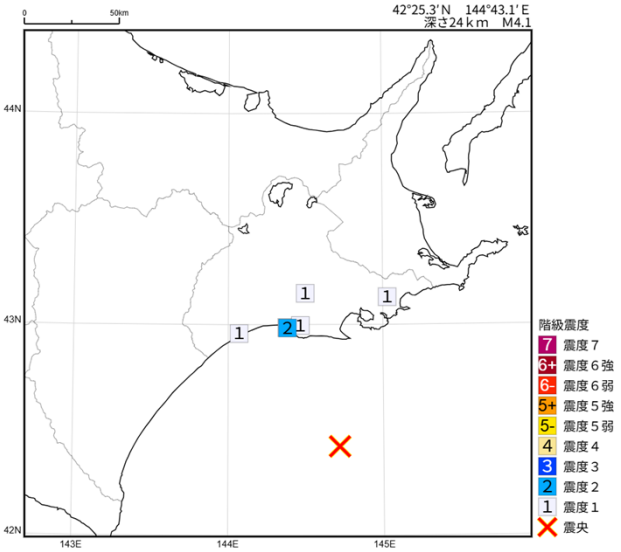
2026年10月12日　12時44分　釧路沖の地震の震度分布図



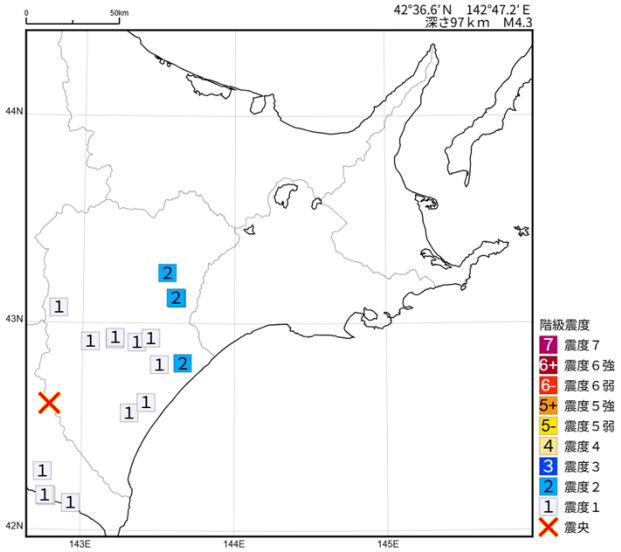
2026年10月12日　20時32分　釧路地方中南部の地震の震度分布図



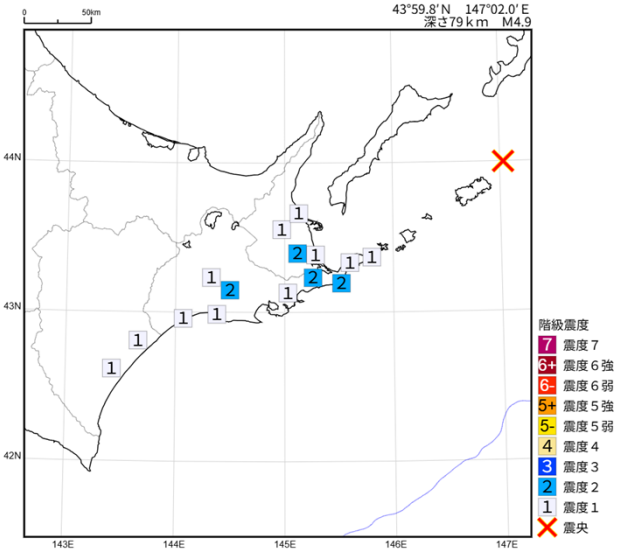
2026年10月20日　05時50分　釧路沖の地震の震度分布図



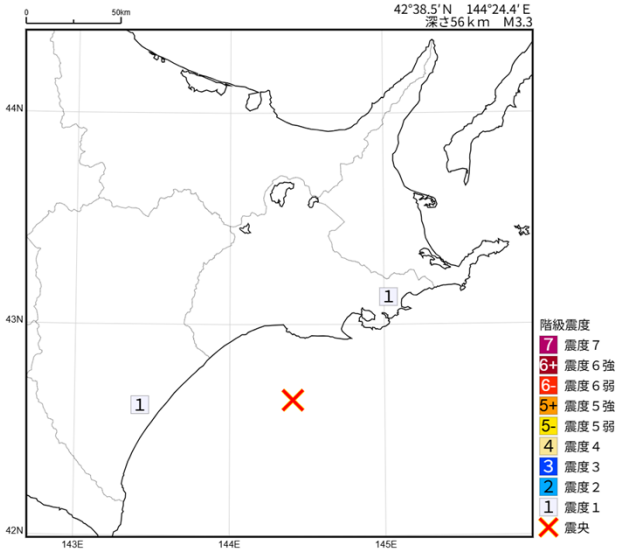
2026年10月21日　23時40分　日高地方中部の地震の震度分布図



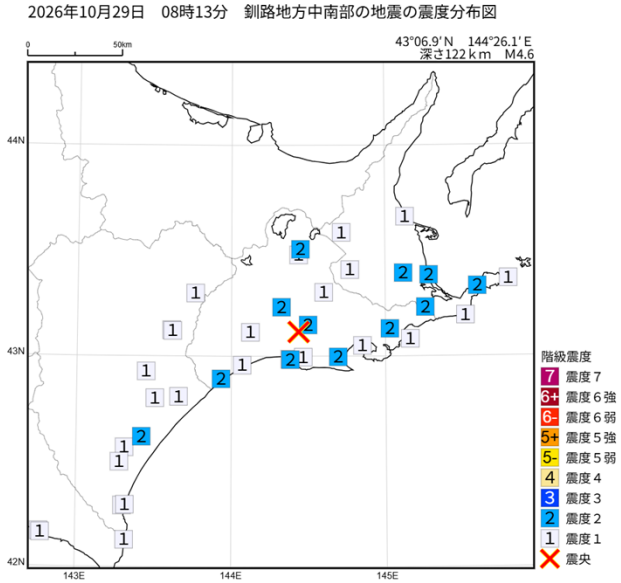
2026年10月23日　02時21分　北海道東方沖の地震の震度分布図



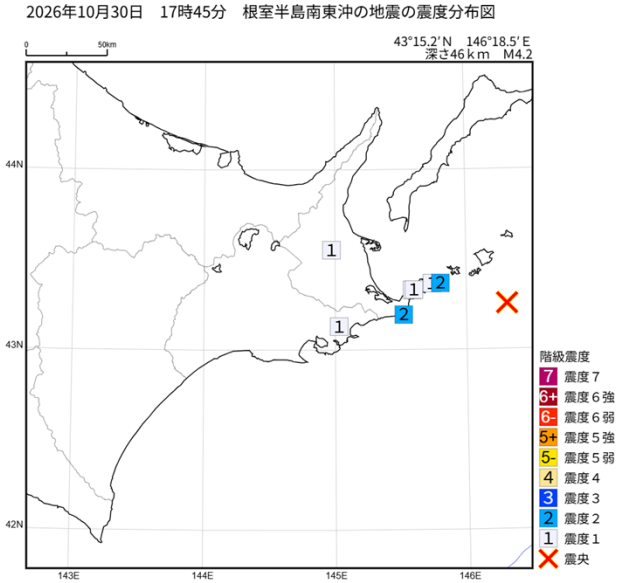
2026年10月27日　04時32分　釧路沖の地震の震度分布図



2026年10月29日　08時13分　釧路地方中南部の地震の震度分布図



2026年10月30日　17時45分　根室半島南東沖の地震の震度分布図



【防災メモ】
～陸域の浅い地震～

地球の表面は十数枚の巨大な板状の岩盤(プレート)で覆われており、それぞれ別々の方向に年間数cmの速度で移動しています。

日本列島周辺では、複数のプレートがぶつかり合うため、大きな力がかかり岩盤にひずみが蓄えられます（図１)。そのひずみが限界に達したとき、岩盤が急速にずれ動きます。これが地震です。

地震は、海溝沿いのプレート境界や海のプレート内部で発生する「海溝型地震」のほか、陸域の浅い所（深さ約 20km より浅い所）でも発生します。

これを「陸域の浅い地震」と呼びます（図２)。

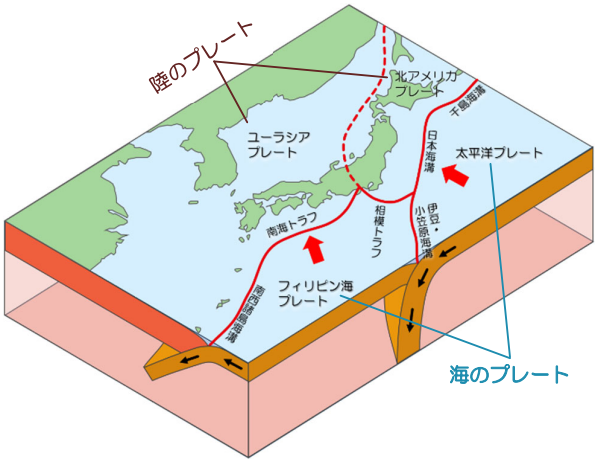


図１　日本列島周辺のプレート

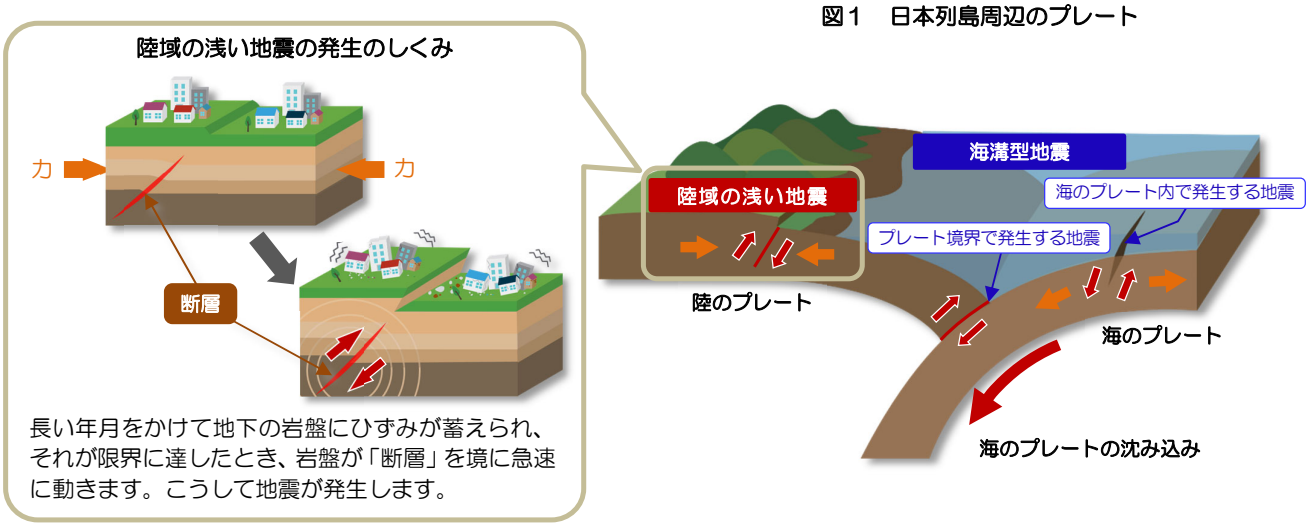


図２　日本列島周辺で発生する地震のタイプ

「陸域の浅い地震」は、海溝付近で発生する巨大地震と比べると規模が小さいことが一般的です。しかし、地震が発生する場所が浅い場合には揺れが大きくなりやすく、そこに人が住んでいると、マグニチュード５～６程度の地震であっても大きな被害をもたらすことがあります。

例えば、「平成 30 年北海道胆振東部地震」はマグニチュード 6.7 と、「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」のマグニチュード 9.0 に比べて地震のエネルギーは 2800 分の１でしたが、最大震度は同じ震度７を観測しました。この強い揺れで、大規模な土砂崩れにより多くの人命が失われ、また、強い地震動や地盤の液状化による住家倒壊などの大きな被害が生じ、北海道内のブラックアウト（大規模停電）をも引き起こしました。

地震はいつ起きるかわかりません。陸域の浅い地震など震源に近い地域では、緊急地震速報が間に合わず、発表前に強い揺れに見舞われることもあります。突然の揺れに備えて日頃から家具の固定や身の安全を図る行動の確認をしておきましょう。